

# ○牧志・安里地区市街地再開発事業について

## ●事業前の地区の状況

・安里川は、地区内で大きく蛇行していたうえ、断面積が小さかったため、大雨のたびに氾濫して、床上浸水を繰り返し、周辺の経済活動や、市民生活に甚大な被害を与え続けていました。



氾濫を繰り返す安里川

・地区内には老朽化した木造家屋が密集して存在し、火災等の災害の危険が高くなっていました。また、接道条件を満たしておらず、単独での建替ができない敷地が多く存在しておりました。その他、那覇市の国際どおりに面して恵まれた立地条件だったものの、低利用地も存在しており、活性化が望まれる地区でありました。



家屋の密集、低未利用地の存在

・国際通りの蔡温橋以东では、賑わいを感じることができなくなっており、国際通りの中で最も活性化が必要な地区でありました。



賑わいを失った当地区

## 事業完成後



河川改修による防災性の向上、駅前広場等の公共施設整備及び住宅・商業施設等の同時一体的整備が可能な「市街地再開発事業」を導入し、安心・安全な「まちづくり」を行うとともに、国際通りで最も活気がなくなっている蔡温橋通りエリアの活性化を図りました。